

概説部会の活動状況 (H30.7～R2.3)

資料 1

1 構成員

(敬称略 R2.3.12現在)

職名	氏名	所属・職名	担当分野
部会長／委員	桑原 真人	札幌大学元学長	近代
専門委員	平野 友彦	旭川工業高等専門学校名誉教授	近代
専門委員	谷本 晃久	北海道大学大学院文学研究院教授	近世
調査研究委員	榎本 洋介	札幌市公文書館職員	近代
調査研究委員	川上 淳	札幌大学地域共創学群教授	近世・前近世
調査研究委員	越田 賢一郎	札幌国際大学縄文世界遺産研究室長	前近世
調査研究委員	蓑島 栄紀	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授	前近世
調査研究協力委員	井上 敬介	北海道大学大学院文学研究院助教	近代
調査研究協力委員	大藤 寛之	赤平市教育委員会地域おこし協力隊	近代
調査研究協力委員	中田 裕香	北海道教育庁文化財・博物館課主査	前近世
調査研究協力委員	松本 あづさ	藤女子大学文学部准教授	近世
委員	西田 秀子	札幌女性史研究会代表	近代

2 部会の開催

開催年月日	主な議事内容
H30年度 第1回 H30.7.12	(1) 部会委員の追加について ・委員補充のため3名を推薦。
H30年度 第2回 H30.10.4	(1) これまでの経過 ・概説部会（ワーキング）の開催結果、「概説」について寄せられた意見・要望、道史編さん大綱・「北海道史編さん委員会道史編さん計画」の概要について資料に基づき確認。 (2) 概説の体裁についての検討 ・「概説」の参考事例について資料に基づき事務局から説明。 ・「概説」のあり方について意見交換し、次回も継続して協議することを確認。 (3) 委員の分担について ・実際の作業の際は、①前近代のグループと②近現代のグループに分かれること、考古分野からの参画も必要であることを確認。
H30年度 第3回 H30.11.22	(1) 概説の編集方針についての検討 ・各委員から意見を発表。討議の結果、編集方針の大枠として記述中心の「通史型」を取ることを確認。 (2) 委員の分担について ・委員を2つのグループに分けることとし、前近代史小部会（原始・古代、中世・近世史）のメンバーは谷本専門委員、川上調査研究委員、蓑島調査研究委員とし小部会長に谷本専門委員を指名。近現代史小部会（近代・現代史）は桑原部会長（兼小部会長）、平野専門委員、榎本調査研究委員とした。 ・考古学分野その他からの参画者については次回まで検討することとした。 ・近現代史分野においても若手を参画させるべきとの提案あり。
H31年度 第1回 H31.4.4	(1) 概説の編集方針についての検討 ・審議の結果、「概説」の書名を「北海道史クロニクル」とすること、分量は全体で上・下2巻各400頁程度を目途にすること、記述のレベルは一般道民にも容易に理解できるレベルとすることなどを確認。（その後意見集約により、「史」を除いた「北海道クロニクル」とすること、その後ろに適切なサブタイトルを付けることとした。） (2) 委員の追加及び分担について ・委員補充のため6名を推薦。